

防災気象情報に関するアンケート

報告書

目次

調査の要点	1
1. 調査目的	2
2. 調査手法	3
3. 調査結果	4
3. 1 回答者の属性	4
3. 2 リアルタイム雨量・水位情報サイトの認知	5
3. 3 リアルタイム雨量・水位情報サイトの利用意向	7
3. 4 気象警報に対する認知	9
3. 5 警報などを入手するメディア	11
3. 6 土砂災害警戒情報に対する認知	12
3. 7 記録的短時間大雨情報に対する認知	13
3. 8 記録的な大雨に関する気象情報に対する認知	14
3. 9 「レベル」の数字の大小と危険性の関係に対する認知	16
3. 10 防災気象情報に対する避難等対応行動の意向	17
3. 11 防災気象情報を言葉で伝える場合とレベルで伝える場合 の比較	21
[附属資料]	
素集計表	

2013年4月

静岡大学防災総合センター牛山研究室

調査の要点

背景・調査手法

- インターネット社会調査サービスの goo リサーチを利用した調査。2004 年, 2007 年, 2010 年にも類似の調査を実施しており, 今回が 4 回目。
- 対象者は, 盛岡市(近年大きな豪雨災害がない), 静岡市(地震災害が強く警告されているが近年大きな豪雨災害はない), 名古屋市(2000 年・2008 年に市内で数千~数万棟の浸水被害が発生)の在住者。回答依頼メールは 2013 年 3 月 1 日に配信, 有効回答数は 547 件(盛岡 173, 静岡 186, 名古屋 188)。

主な結果

- 豊富な雨量・水位情報を提供している「川の防災情報」は 8 割の回答者が認知しておらず, 2004 年, 2007 年, 2010 年の結果とほとんど変わらない。全国の河川水位が公開されていること自体も, 7 割の回答者が認知していない。
- リアルタイム雨量・水位情報の存在を認知しても, 積極的な利用意向は 1 割程度。過去の調査とほぼ同様な傾向。
- 気象警報の意味を正しく理解しているのは 43.1%。回答者の 42.2%は警報の地域区分の大きさを現実より粗いと認識している。
- ネット利用者を対象とした調査でも, 気象警報を入手する最も主なメディアとしてはテレビを挙げる回答が最多(69.5%)。
- 土砂災害警戒情報という語を見聞きしたことがある回答者は 51.9%, 情報の意味を適切に理解している回答者は 40.8%。
- 記録的短時間大雨情報という語を見聞きしたことがある回答者は 45.2%, 情報の意味をおおむね適切に理解している回答者は 63.1%。
- 「これまでに経験したことのないような大雨」という語を見聞きしたことがある回答者は 55.9%, 情報の意味をおおむね適切に理解している回答者は 66.0%。
- 「レベル」の数値が大きい方が危険度高いことは 97.3%の回答者が認識。まとまった被害が出るのはレベル 3 以上と認識している回答者が 96.9%で, 52.3%はレベル 5 と回答。
- 「土砂災害特別警報」などの「言葉」での情報よりも「レベル」情報の方が, 「すぐに避難」と回答する率が高くなる傾向だが, 「レベル 5」でも 53.9%。
- 「言葉」での情報よりも「レベル」情報の方が理解しやすいとの回答が 49.7%。

※本報告書は速報としてとりまとめたものであり, 今後修正される場合がある。

※丸め誤差により, 集計表やグラフに示された比率の合計が 100.0%とならない場合がある。

1. 調査目的

筆者らは以前から、豪雨災害の被災者や、市町村防災担当者を対象にリアルタイム雨量・水位情報等の認知、利用実態、利用意向についての調査を行っており、これらの情報があまり認知されておらず、認知されても必ずしも積極的に利用されないことを示唆してきた。前回この観点からの調査を行ったのが2010年であり(牛山ら, 2010), 既に3年あまり経過した。近年, 新たな防災気象情報の整備や, 警報体系の改変の検討が行われつつあり, 近年のリアルタイム雨量・水位情報や, 各種災害情報に対する認知状況, 利用意向について調査した。

なお本報告書は, 調査結果のうち, 主な集計結果を速報としてとりまとめたものである。

参考文献

- 牛山素行・吉田亜里紗・國分和香那, 2008: 豪雨防災情報に対するインターネット利用者の認識, 水工学論文集, No.52, pp.445-450.
- 牛山素行・栗田幸将, 豪雨防災情報に対するインターネット利用者の認識・2010年, 水文・水資源学会 2008年研究発表会要旨集, pp.282-283, 2010.

2. 調査手法

調査は、インターネットを通じた社会調査サービスである goo リサーチ(NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社運営)を利用した。同サービスに登録しているモニターに対して調査依頼のメールを配信し、これに応じた回答者から先着順に一定数までの回答を受け付ける方式で行われる。

対象者は、2010年の調査と同様に、盛岡市(近年大きな豪雨災害がない)、静岡市(地震災害が強く警告されているが近年大きな豪雨災害はない)、名古屋市(2000年・2008年に市内で数千～数万棟の浸水被害が発生)の在住者とした。回答依頼メールは2013年3月1日に配信、3月5日締切で、有効回答数は547件(盛岡173、静岡186、名古屋188)だった。なお、ここで用いた回収方法は割当法、すなわちあらかじめ回収数を決め、予定回収数に達した時点で受け付けを終了する、あるいは予定数に達するまで依頼を続けるという方法である。従って印刷したアンケートを配布する際のような、「配布数」や「回収率」という概念はそもそも存在しない。

なお、自由回答を除き、すべての質問について回答を入力しないと次画面に進めない仕様としており、「無回答」は存在しない。

なお、筆者らはこれまでにほぼ同様な方法で、以下3回の調査を行っており、以下では一部の設問についてこれらの調査結果と比較する。

●2004年調査

対象者：全国

依頼メール：2004年3月17日配信，同18日〆切

有効回答：407件

●2007年調査

対象者：全国

依頼メール：2007年2月28日配信，3月1日〆切

有効回答：528件

報告書 <http://www.disaster-i.net/notes/081119report.pdf>

●2010年調査

対象者：盛岡市，静岡市，名古屋市

依頼メール：2010年3月2日配信，3月3日〆切

有効回答：539件(盛岡181，静岡180，名古屋178)

報告書 <http://www.disaster-i.net/notes/100430report.pdf>

3. 調査結果

3. 1 回答者の属性

回答者の年代は、30代から50代で8割弱を占め、20代以下の青年層、60代以上の高齢者の比率は低い。性別は、男女間で大きな偏りはない。インターネット上での調査であることから、基本的に全員が何らかの形でインターネットを利用している回答者である。

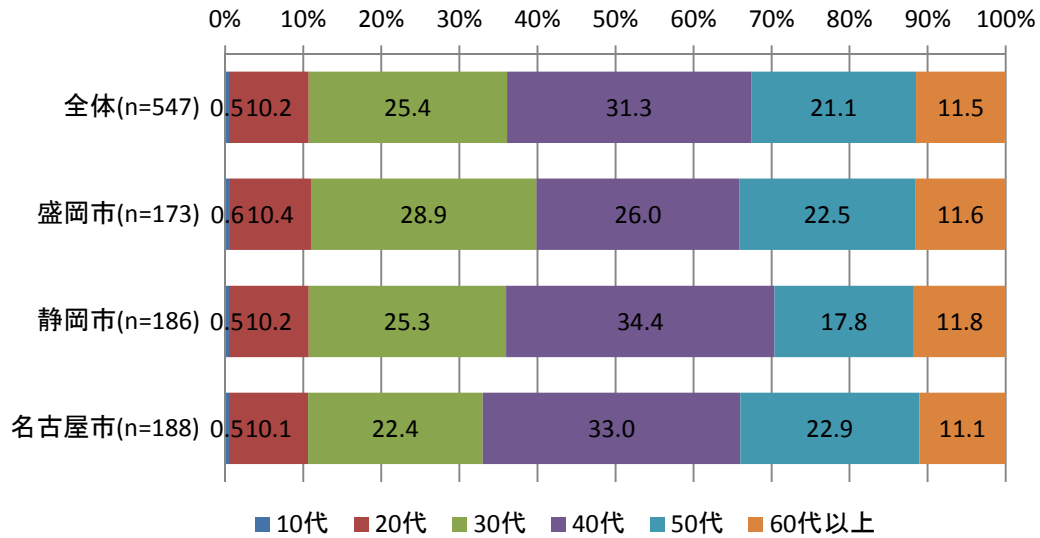


図 1 回答者の年代構成

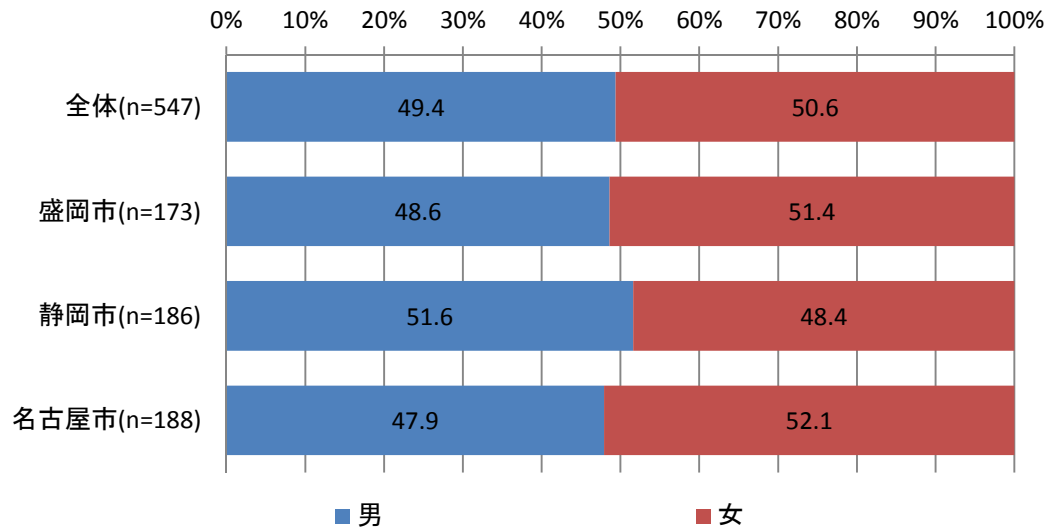


図 2 回答者の性別構成

3. 2 リアルタイム雨量・水位情報サイトの認知

豊富な雨量・水位情報を提供している「川の防災情報」は 8 割の回答者が認知しておらず、2004 年、2007 年、2010 年の結果とほとんど変わらない。全国の河川水位が公開されていること自体も、7 割の回答者が認知していない。

リアルタイム雨量・水位情報サイトとして、Yahoo!天気情報(<http://weather.yahoo.co.jp/weather/index.html>)、防災情報提供センター(<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>)、川の防災情報(<http://www.river.go.jp/>)、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/>)を挙げ、それぞれのリンク先を参照してもらった上で、「あなたは以下のホームページを見たことがありますか」と尋ねた。

Yahoo 天気情報については「よく見ている」、「見たことはある」がほとんど(84.1%)を占めるが、防災情報提供センターは「今回のアンケートで初めてその存在を知った」が 64.2%、川の防災情報は同 76.4%と、認知していない回答者が多数を占める。これらの傾向は、2004 年調査、2007 年調査、2010 年調査とほとんど変化していない。

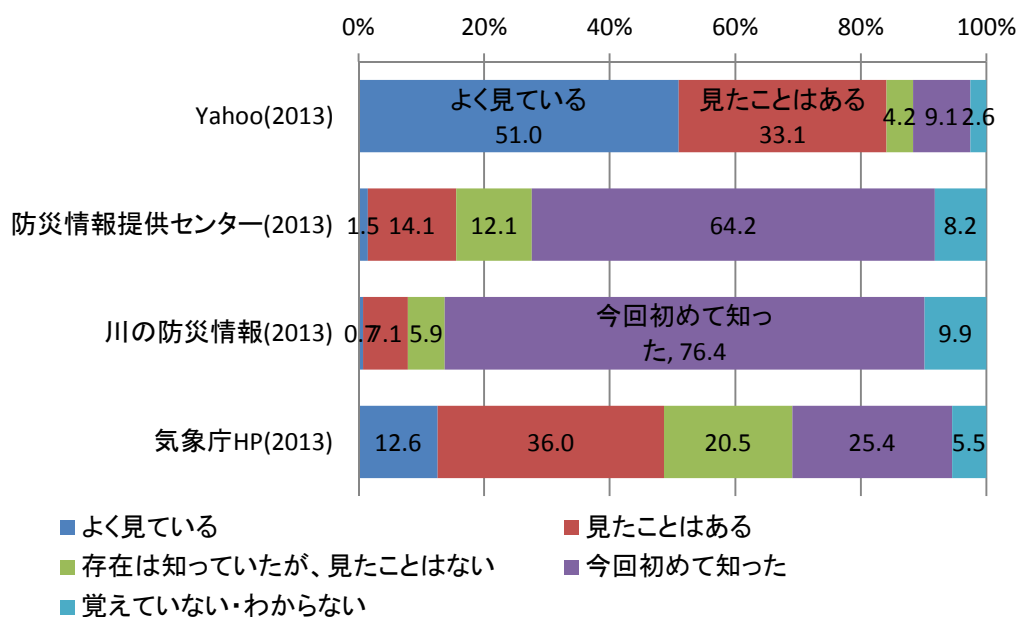


図 3 リアルタイム雨量・水位情報サイトの認知(2013 年)

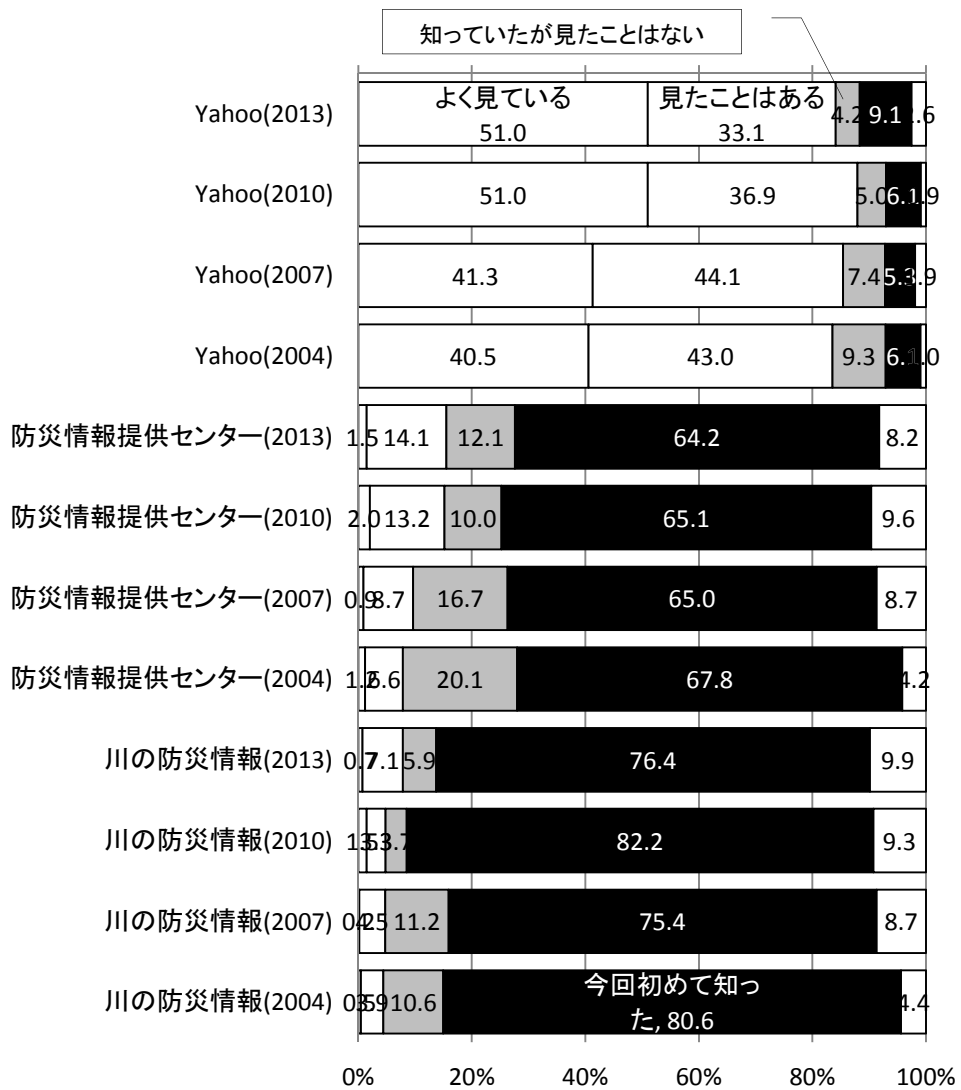


図 4 リアルタイム雨量・水位情報サイトの認知(各回比較)

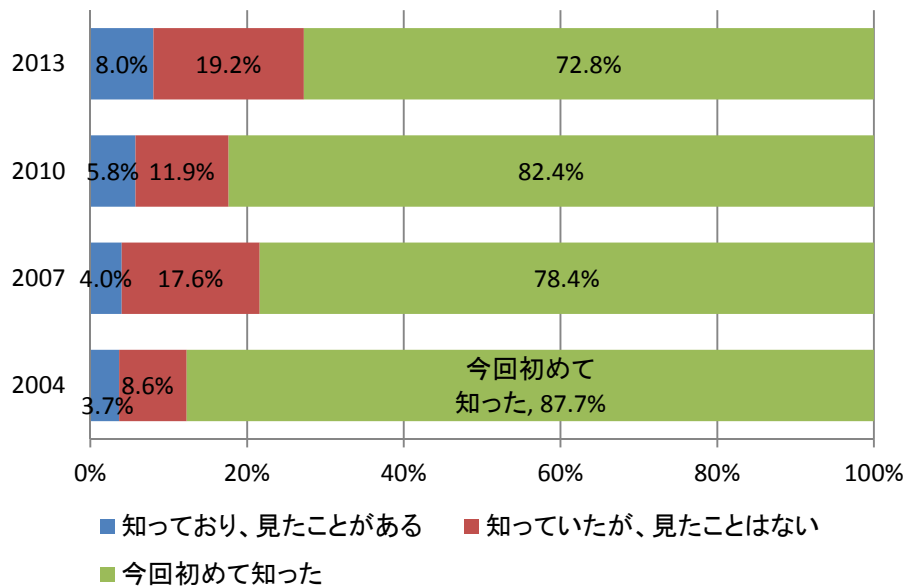


図 5 全国の河川水位情報が公開されていることに対する認知

各サイトの内容に対する認識を知るために、「前問にある「防災情報提供センター」や「川の防災情報」のページでは、＜1＞テレビやインターネットの一般的な天気予報などで伝えられるよりもはるかに多くの観測地点における雨量の情報、＜2＞全国各地の河川の水位の情報、が公開されています」と説明した上で、これらの事実の認知状況を尋ねた。雨量、水位ともに、「今回のアンケートで初めてその存在を知った」が7割前後を占め、ほとんど認知されていなかった。これについても、2010年調査とほとんど変化していない。

3. 3 リアルタイム雨量・水位情報サイトの利用意向

リアルタイム雨量・水位情報の存在を認知しても、積極的な利用意向は 1 割程度。過去の調査とほぼ同様な傾向。

このアンケートを通じて、回答者はリアルタイム雨量・水位情報が公開されていることを認知したことになる。そこで、これらの情報の利用意向を調べるため、「あなたは、大雨による災害が起こりそうな時に、パソコンや携帯電話から、これらの情報を実際に見て参考にするとお考えですか」と尋ねた。雨量、水位のそれぞれについてパソコンからの参照、携帯電話からの参照意向を整理した。

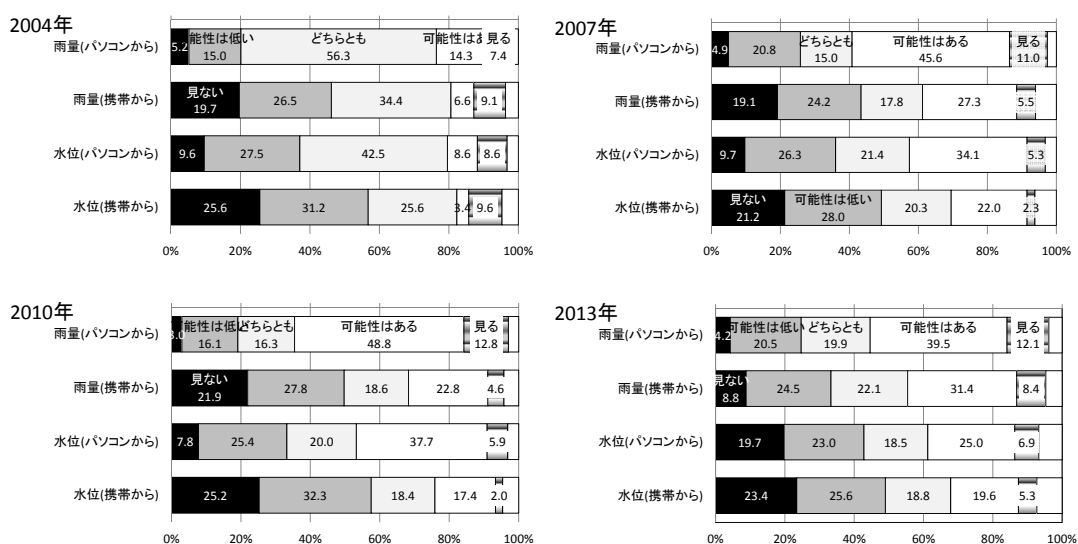


図 6 リアルタイム雨量・水位情報の利用意向

「確実に見ると思う」(図中では「見る」)という積極的な利用意向はいずれも 1 割程度で、「見る可能性はあると思う」(同「可能性はある」)との合計を利用意向有りとし見なしても、雨量をパソコンからの場合が 51.6%となるのみで、他は過半数に満たない。

この傾向は、各年の調査とほとんど変わらない。リアルタイム雨量・水位情報が公開されていることを知らせても、利用者はその情報に対して積極的な利用意向を示さないことがあらためて確認された。

3. 4 気象警報に対する認知

気象警報の意味を正しく理解しているのは 43.1%。回答者の 42.2%は警報の地域区分の大きさを現実より粗いと認識している。

「気象庁から、大雨警報、暴風警報など、気象に関する警報が発表されることがあります。この「警報」とはどのような意味を持つ情報だと思いますか」と尋ねた。警報とは、「重大な災害の起るおそれのある旨を警告して行う予報」(気象業務法第二条 7 項)なので、この質問のいわば「正解」は「重大な災害が起るおそれのあることを警告する情報」である。なお、「注意報」とは「災害が起るおそれがある場合にその旨を注意して行う予報」(気象業務法施行令第四条)である。注意報に当たる「災害が起るおそれがあることを注意する情報」と、「災害が起るほどではないが念のため注意することを呼びかける情報」の合計が 49.9% である。つまり、全体の半数弱は警報について本来持つ意味よりも弱く認識していることになる。

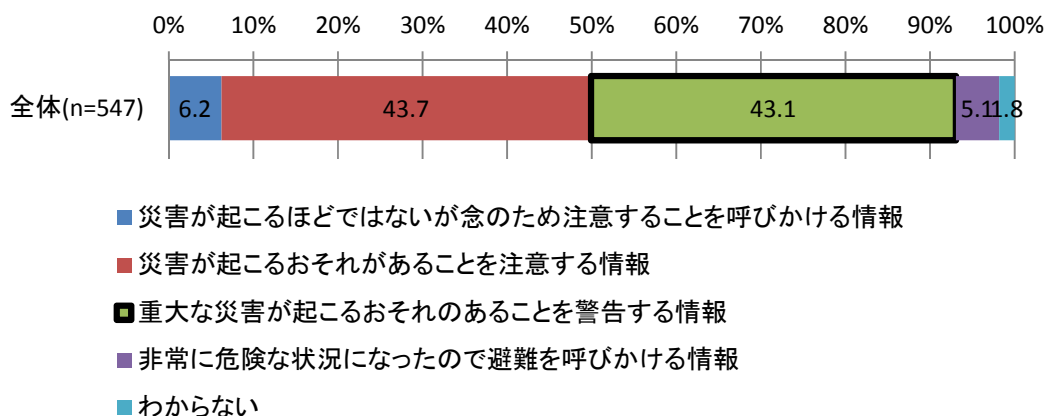


図 7 気象警報の意味に対する認知

「気象に関する警報は、どの程度の地域的な広がり単位として発表されていると思いますか」と尋ねた結果が、下図である。「市町村単位くらい」がもっとも現状に近い選択肢であるが、これを選択した回答者は 38.4%にとどまる。一方、市町村警報導入前の状況に近い「県単位くらい」、「県内を複数の地域に区分するくらい」の合計が 42.2%に達している。

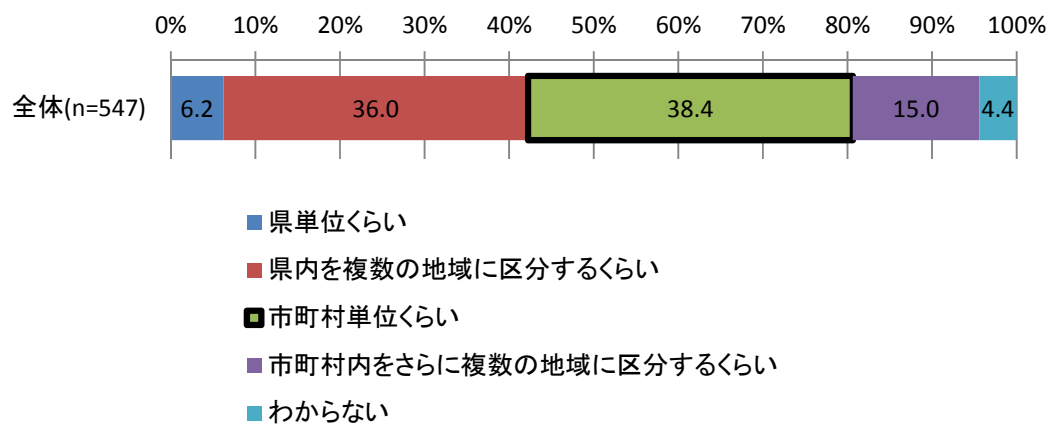


図 8 警報の地域区分に対する認知

3. 6 土砂災害警戒情報に対する認知

土砂災害警戒情報という語を見聞きしたことがある回答者は 51.9%、情報の意味を適切に理解している回答者は 40.8%.

「気象庁から、市町村程度の地域的な広がり単位として、「土砂災害警戒情報」という情報が発表されることがあります。「土砂災害警戒情報」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。」に対する回答が下図である。「ある」という回答がほぼ半数となっている。

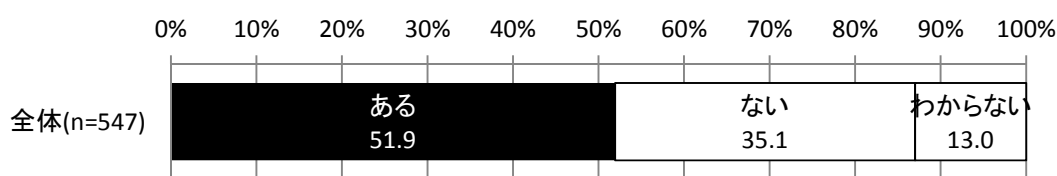
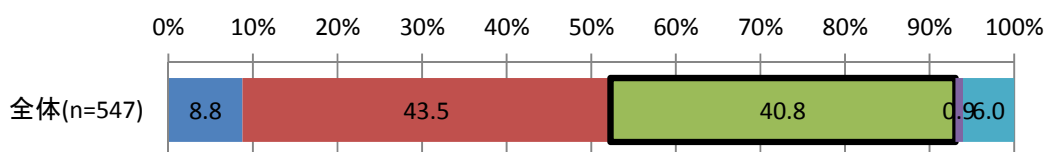


図 10 土砂災害警戒情報に対する認知

情報の意味を尋ねる設問として挙げた「土砂災害警戒情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか」に対する回答が下図である。気象庁 HP の解説からは、「土砂災害が発生する危険度が高まった時」と読み取れるが、これを選択したのは 40.8%にとどまる。「すぐに土砂災害が発生するほどではないが、念のため注意した方がよい時」と「土砂災害が発生する可能性が生じた時」という、本来の情報より弱い意味に解釈する回答の方がむしろ多くなっている(52.3%)。



- すぐに土砂災害が発生するほどではないが、念のため注意した方がよい時
- 土砂災害が発生する可能性が生じた時
- 土砂災害が発生する危険度が高まった時
- 土砂災害が発生した時
- わからない

図 11 土砂災害警戒情報の意味に対する認知

3. 7 記録的短時間大雨情報に対する認知

記録的短時間大雨情報という語を見聞きしたことがある回答者は 45.2%、情報の意味をおおむね適切に理解している回答者は 63.1%.

「気象庁から、市町村程度の地域的な広がり単位として、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されることがあります。「記録的短時間大雨情報」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。」に対する回答が下図である。「ある」という回答は 45.2%で、土砂災害警戒情報よりやや低い。

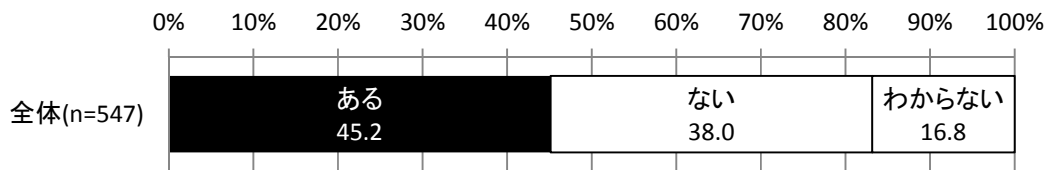


図 12 記録的短時間大雨情報に対する認知

情報の意味を尋ねる設問として挙げた「「記録的短時間大雨情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか」に対する回答が下図である。「1時間の雨量が、その市町村においては数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した」がもっとも適切であるが、「1時間の雨量が、その市町村においては数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した」も全く間違いとは言い切れない。この2選択肢の合計は 63.1%となり過半数は超えるが、誤認識あるいは理解していない回答者も少なくない。

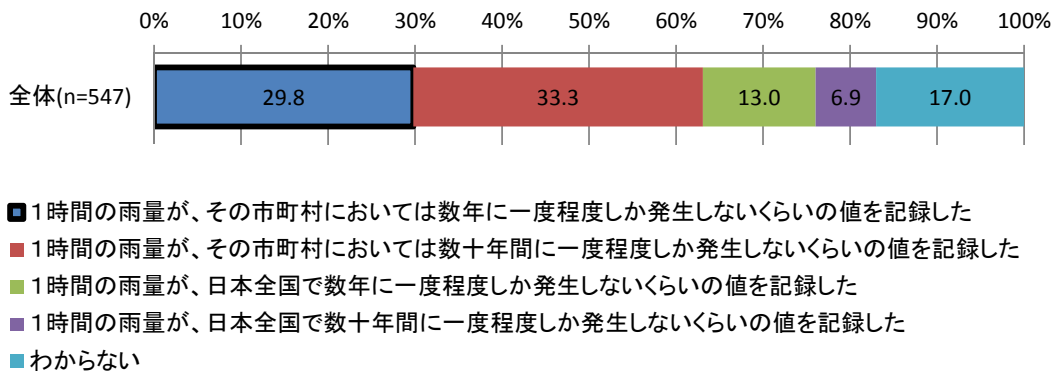


図 13 記録的短時間大雨情報の意味に対する認知

3. 8 記録的な大雨に関する気象情報に対する認知

「これまでに経験したことのないような大雨」という語を見聞きしたことがある回答者は 55.9%、情報の意味をおおむね適切に理解している回答者は 66.0%.

「気象庁から、複数市町村程度の地域を単位として、「これまでに経験したことのないような大雨」という情報が発表されることがあります。「これまでに経験したことのないような大雨」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。」に対する回答が下図である。なお、この情報の正式な呼称は「記録的な大雨に関する気象情報」である。「ある」という回答の比率は 55.9%で、土砂災害警戒情報や記録的短時間大雨情報よりやや高い。

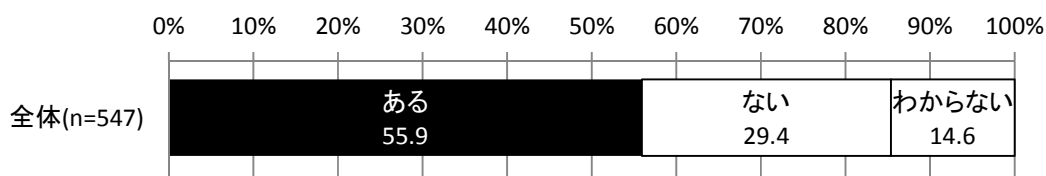


図 14 記録的な大雨に関する気象情報に対する認知

情報の意味を尋ねる設問として挙げた「「これまでに経験したことのないような大雨」とは、次の中で選ぶとすれば、どのような大雨だと思いますか」に対する回答が下図である。「情報が発表された市町村周辺では過去に記録されていない大雨」がもっとも適切であるが、「情報が発表された市町村を含む都道府県内では過去に記録されていない大雨」も全く間違いとは言いきれない。この2選択肢の合計は 66.0%となり過半数を超えるが、もっと極端な記録であると誤認識している回答者も少なくない。

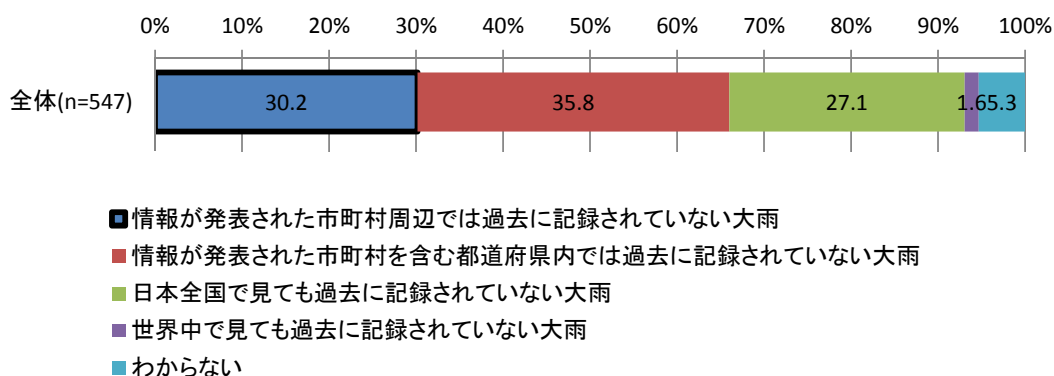


図 15 記録的な大雨に関する気象情報の意味に対する認知

「「これまでに経験したことのないような大雨」の「これまで」とは、具体的には過去何年間くらいのことだと思いますか。年数を数字で記入してください」と尋ねた結果が下図である。この設問は選択肢回答ではなく、数値で記入を求めているため、様々な回答が得られている。「記録的な大雨に関する気象情報」は、解析雨量 48 時間積算値、土壌雨量指数、流域雨量指数などの指標で 50 年に一度の大雨を超過した 5km 格子が 50 格子以上となった場合に発表される。したがって、「これまで」とはおおむね 50 年と考えて差し支えない。回答では、50 年程度の数値を挙げた回答者は 21.8%で、30 年以下の短期間を挙げた回答が 65.8%となっている。

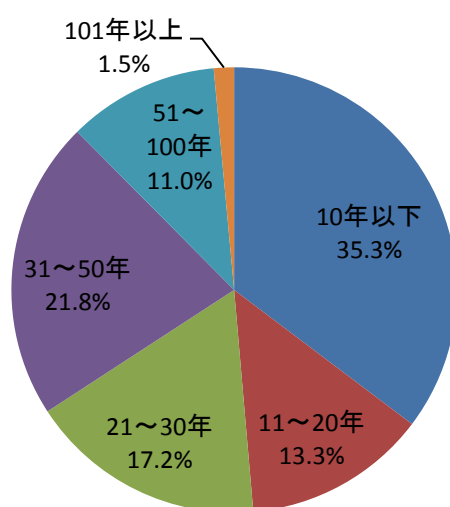


図 16 「これまでに経験したことのないような大雨」の年数に対する認識

3. 9 「レベル」の数字の大小と危険性に対する認知

「レベル」の数値が大きい方が危険度高いことは 97.3%の回答者が認識。まとまった被害が出るのはレベル3以上と認識している回答者が 96.9%で、52.3%はレベル5と回答。

以下の設問では、「現在は存在していない気象情報について質問します。仮にこれらの情報が存在したら、あなたはどのように考えるかをお答えください」と注記した上で回答を求めた。

気象情報が「レベル」で発表されるようになった場合、「数字が大きいほど情報としての危険性・深刻性が高い」ということが理解されていないなければならない。このことについて調べるための設問として、「仮に「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで警報が発表された場合、災害発生の危険性が高いのは「レベル5」の方だと感じますか、あるいは「レベル1」の方だと感じますか」と尋ねた結果が下図である。「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いと感じる」という回答が圧倒的多数を占めている。

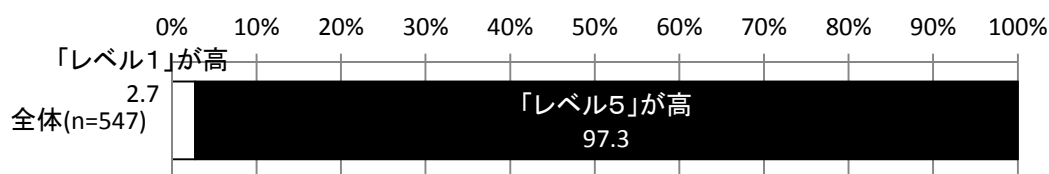
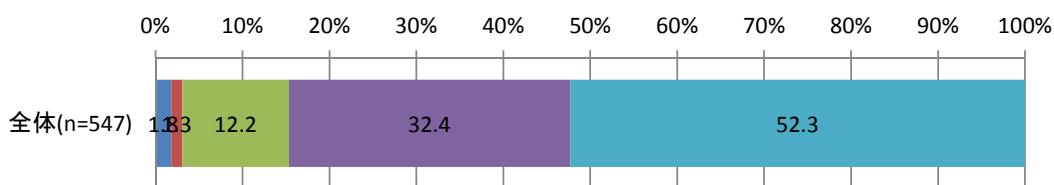


図 17 「レベル」の数値に対する認知

「レベル」と災害の対応関係についての認識を調べるため、「仮に「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで警報が発表された場合、死者の発生・住家の床上浸水や全壊などの被害が発生する可能性があると感じるのは、どのレベルですか」と尋ねた結果が下図である。まとまった被害が出始めるのはレベル3以上と認識している回答者が大多数であり、過半数はレベル5を挙げている。



■ 大雨警報レベル1 ■ 大雨警報レベル2 ■ 大雨警報レベル3 ■ 大雨警報レベル4 ■ 大雨警報レベル5

図 18 「レベル」と被害の関係

3. 10 防災気象情報に対する避難等対応行動の意向

「土砂災害特別警報」などの「言葉」での情報よりも「レベル」情報の方が、「すぐに避難」と回答する率が高くなる傾向だが、「レベル5」でも53.9%.

警報などの防災気象情報を覚知した際にどのような行動を取る意向を持っているかを尋ねた。その情報を覚知した際に置かれた状況を明確化するために、「この設問では、次のような場所にあなたが居住していると仮定してお答えください」と注記して、以下の条件を挙げた。

- ・ あなたのご自宅は山に近く、ハザードマップ上で「土砂災害警戒区域(土砂災害に見舞われる可能性のある場所)」内にあると示されています。
- ・ あなたのご自宅の構造は、木造2階建てです。
- ・ ご自宅から徒歩5分ほどのところに、避難所となっている公民館があります。この公民館がある場所は、「土砂災害警戒区域」の範囲外にあります。

これら条件を挙げた上で、「この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか」と尋ね、次の11種類の情報を挙げた。

- A) 土砂災害注意報
- B) 土砂災害警報
- C) 土砂災害特別警報
- D) 土砂災害発生情報
- E) 土砂災害警報レベル1
- F) 土砂災害警報レベル2
- G) 土砂災害警報レベル3
- H) 土砂災害警報レベル4
- I) 土砂災害警報レベル5
- J) 避難勧告
- K) 避難指示

対応行動としては下記を挙げた。

- ① すぐに避難所に避難する
- ② テレビなどで情報を集める
- ③ 付近の様子を見る
- ④ 特に何もしない
- ⑤ わからない

以下に情報ごとの結果を挙げる。

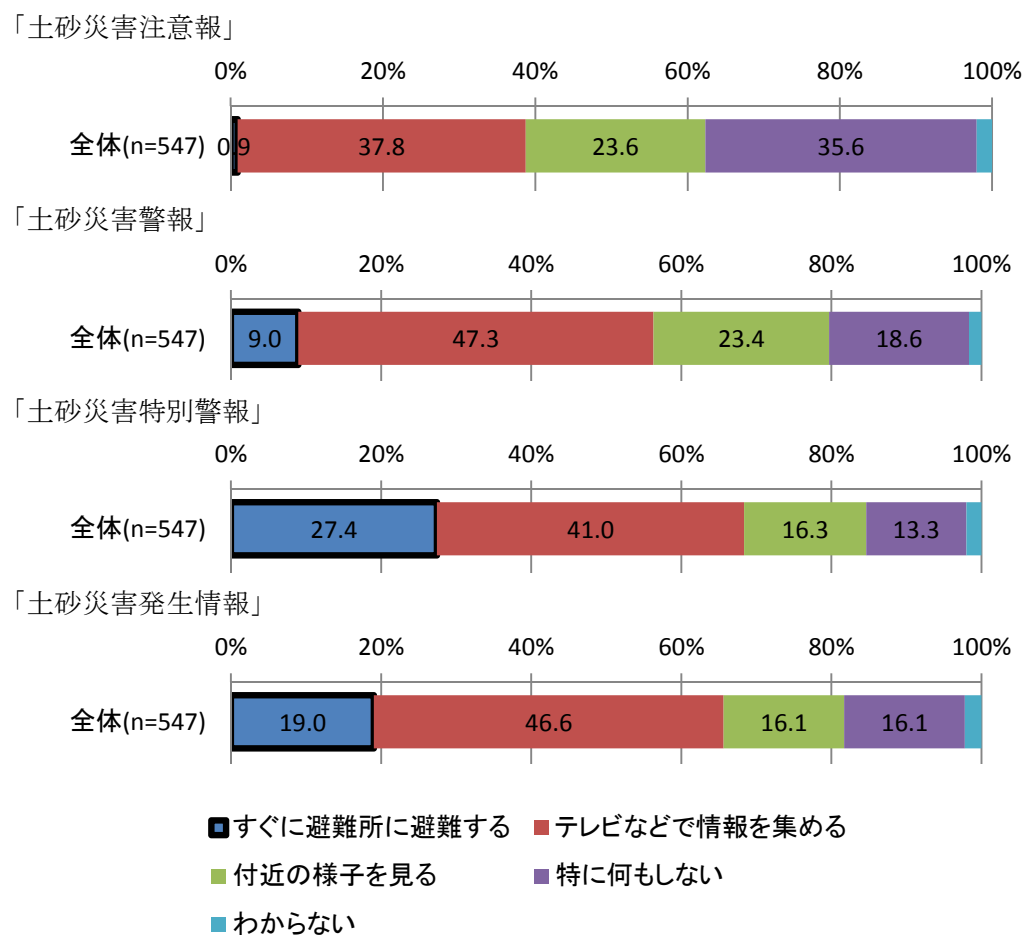


図 19 土砂災害関係の「言葉」情報への対応意向

土砂災害に関して現在存在しない情報の呼称を挙げた。ここで挙げた中では「土砂災害特別警報」で「すぐに避難所に避難する」の率が最も高くなっているが、それでも 3 割弱である。「土砂災害特別警報」での「すぐに避難所に避難する」率は「土砂災害警報」に比べてかなり高く、人の行動を促す言葉としては有効と思われるので、明確に危険性が存在する時に限定して使用するなどの注意が必要であろう。

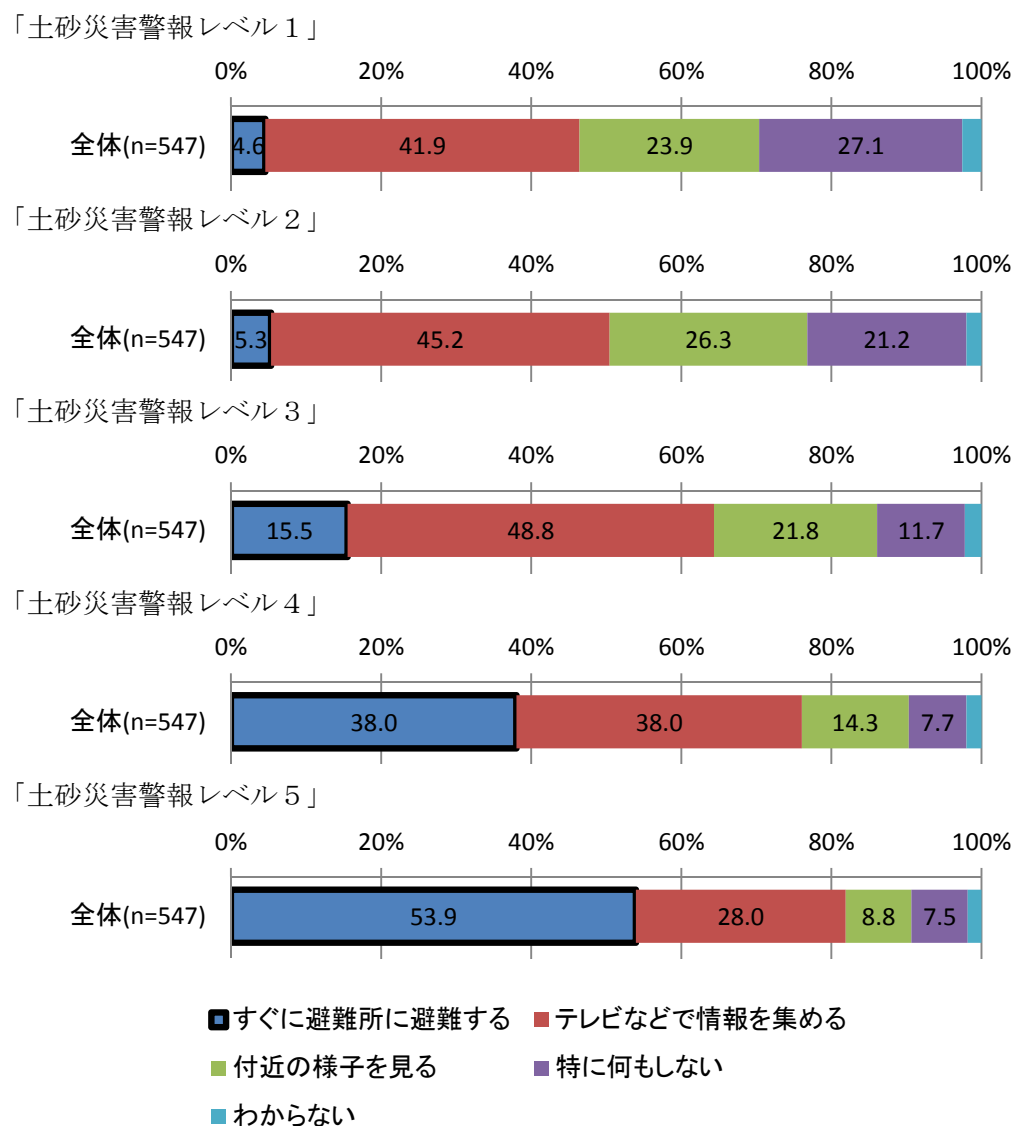


図 20 「土砂災害レベル*」に対する対応意向

「土砂災害警報レベル*」という表現を用いた場合、「レベル3」から「すぐに避難所に避難する」率が1割以上となる。「レベル4」、「レベル5」では「土砂災害特別警報」に対する「すぐに避難所に避難する」率を上回るが、「レベル5」でも53.9%である。

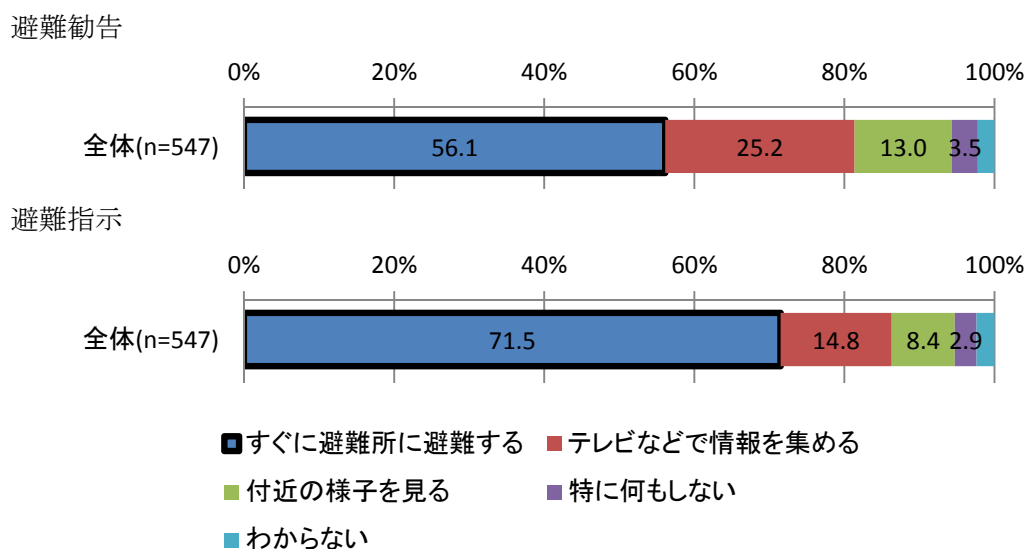


図 21 避難勧告・指示に対する対応意向

避難勧告に対しては、「すぐに避難所に避難する」率が、「土砂災害警報レベル5」と同程度で、避難指示ではより高くなる。

実際の災害時に避難勧告が出された場合でも避難率が5割に達することは希で、数%ということも珍しくない。ここでの回答は、あくまでも仮想的な状況下での「意向」を示しているものであり、「すぐに避難所に避難する」率の絶対値についてはあまり厳密な議論はできないと考えられる。

3. 1 1 防災気象情報を言葉で伝える場合とレベルで伝える場合の比較

「言葉」での情報よりも「レベル」情報の方が理解しやすいとの回答が 49.7%.

「大雨や土砂災害など、気象災害の危険性の程度を伝える情報は、「大雨注意報、大雨警報」のように言葉で表す方法と、「大雨警報レベル3」のように数字で表す方法が考えられます。あなたにとっては、どちらの方法の方が、危険性の程度を理解しやすいと思いますか」と尋ねた結果が下図である。「レベル」の方がよいとの回答が多い(49.7%)が、「どちらでも変わらない」や「わからない」も少なくない。

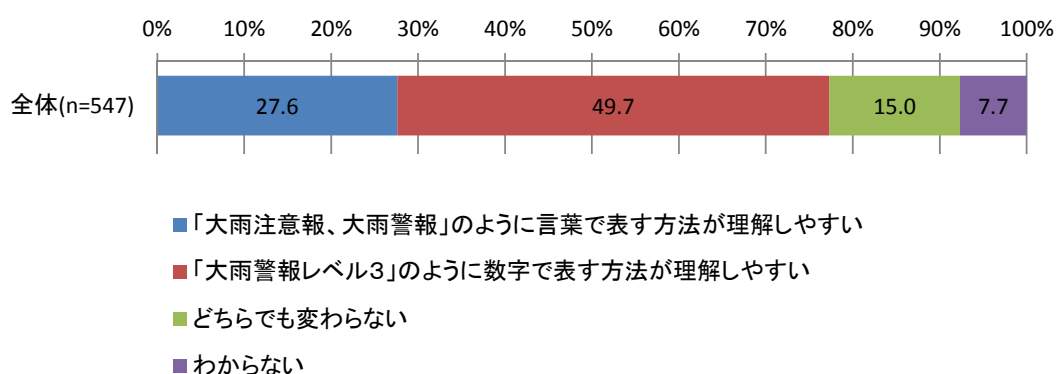


図 22 「言葉」と「レベル」の比較

謝辞

本調査にご回答いただいた，goo リサーチ登録モニターの皆様に感謝します。

本報告書のとりまとめに当たっては，静岡大学防災総合センターの横幕早季学術研究員にご協力をいただきました。なお，本調査の一部は，環境省環境研究総合推進費(S-8)，科学研究費補助金「客観的根拠に基づく津波防災情報及び豪雨防災情報のあり方に関する研究」(研究代表者・牛山素行)，科学技術戦略推進費地域再生人材創出拠点形成事業「災害科学的基礎を持った防災実務者の養成」の研究助成によるものです。

付属資料

(1)素集計表(全体)

素集計表(全体)

◆このアンケートは、主に、洪水・浸水・がけ崩れ・土石流など大雨によって引き起こされる災害と防災気象情報についてお伺いするものです。

問1項目1. あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。

-地震

No	選択肢	実数	%
01	安全	31	5.7
02	まあ安全	205	37.5
03	やや危険	114	20.8
04	危険	150	27.4
05	わからない	47	8.6
	合計	547	100.0%

問1項目2. あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。

-大雨・洪水

No	選択肢	実数	%
01	安全	104	19.0
02	まあ安全	244	44.6
03	やや危険	120	21.9
04	危険	52	9.5
05	わからない	27	4.9
	合計	547	100.0%

問1項目3. あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。

-がけ崩れ・土石流

No	選択肢	実数	%
01	安全	245	44.8
02	まあ安全	214	39.1
03	やや危険	53	9.7
04	危険	17	3.1
05	わからない	18	3.3
	合計	547	100.0%

問2項目1. あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。

-地震によって家が倒壊する

No	選択肢	実数	%
01	可能性は非常に低い	56	10.2
02	可能性は低い	225	41.1
03	可能性は高い	147	26.9
04	可能性は非常に高い	75	13.7
05	わからない	44	8.0
	合計	547	100.0%

問2項目2. あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。
-大雨の際に家が浸水する

No	選択肢	実数	%
01	可能性は非常に低い	214	39.1
02	可能性は低い	217	39.7
03	可能性は高い	76	13.9
04	可能性は非常に高い	23	4.2
05	わからない	17	3.1
合計		547	100.0%

問2項目3. あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。
-がけ崩れや土石流によって家が壊される

No	選択肢	実数	%
01	可能性は非常に低い	304	55.6
02	可能性は低い	193	35.3
03	可能性は高い	32	5.9
04	可能性は非常に高い	7	1.3
05	わからない	11	2.0
合計		547	100.0%

問3 あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

※それぞれのサイトをご覧になってから、お答えください。

<http://weather.yahoo.co.jp/weather/>

<http://tenki.jp/>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<http://www.river.go.jp/>

<http://www.jma.go.jp/jma/>

問3項目1. あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

-Yahoo!天気情報

No	選択肢	実数	%
01	よく見ている	279	51.0
02	見たことはある	181	33.1
03	存在は知っていたが、見たことはない	23	4.2
04	今回のアンケートで初めてその存在を知った	50	9.1
05	覚えていない・わからない	14	2.6
合計		547	100.0%

問3項目2. あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

-tenki.jp

No	選択肢	実数	%
01	よく見ている	41	7.5
02	見たことはある	100	18.3
03	存在は知っていたが、見たことはない	36	6.6
04	今回のアンケートで初めてその存在を知った	322	58.9
05	覚えていない・わからない	48	8.8
合計		547	100.0%

問3項目3. あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

-防災情報提供センター

No	選択肢	実数	%
01	よく見ている	8	1.5
02	見たことはある	77	14.1
03	存在は知っていたが、見たことはない	66	12.1
04	今回のアンケートで初めてその存在を知った	351	64.2
05	覚えていない・わからない	45	8.2
合計		547	100.0%

問3項目4. あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

-川の防災情報

No	選択肢	実数	%
01	よく見ている	4	0.7
02	見たことはある	39	7.1
03	存在は知っていたが、見たことはない	32	5.9
04	今回のアンケートで初めてその存在を知った	418	76.4
05	覚えていない・わからない	54	9.9
合計		547	100.0%

問3項目5. あなたは以下のホームページを見たことがありますか。

-気象庁ホームページ

No	選択肢	実数	%
01	よく見ている	69	12.6
02	見たことはある	197	36.0
03	存在は知っていたが、見たことはない	112	20.5
04	今回のアンケートで初めてその存在を知った	139	25.4
05	覚えていない・わからない	30	5.5
合計		547	100.0%

前問にある「防災情報提供センター」や「川の防災情報」のページでは、下記の情報が公開されています。

<1>テレビやインターネットの一般的な天気予報などで伝えられるよりはるかに多くの観測地点における雨量の情報

<2>全国各地の河川の水位の情報

問4項目1. あなたは、このような情報が公開されていることをご存じでしたか。

-<1>一般の天気予報で伝えられるよりはるかに多くの観測地点における雨量

No	選択肢	実数	%
01	知っており、見たことがある	64	11.7
02	存在は知っていたが、見たことはない	116	21.2
03	今回のアンケートで初めてその存在を知った	367	67.1
合計		547	100.0%

問4項目2. あなたは、このような情報が公開されていることをご存じでしたか。

-<2>全国各地の河川の水位

No	選択肢	実数	%
01	知っており、見たことがある	44	8.0
02	存在は知っていたが、見たことはない	105	19.2
03	今回のアンケートで初めてその存在を知った	398	72.8
合計		547	100.0%

先の設問でも紹介したように、「防災情報提供センター」や「川の防災情報」などのページでは、多くの観測地点における雨量の情報や、全国各地の川の水位の情報が公開されています。

<1>テレビやインターネットの一般的な天気予報などで伝えられるよりもはるかに多くの観測地点における雨量の情報
 <2>全国各地の河川の水位の情報

問5項目1. あなたは、大雨による災害が起こりそうな時に、パソコンや携帯電話から、これらの情報を実際に見て参考にするとお考えですか。

-一般の天気予報で伝えられるよりもはるかに多くの観測地点における雨量(パソコンから)

No	選択肢	実数	%
01	確実に見ないと思う	23	4.2
02	見る可能性は低いと思う	112	20.5
03	どちらとも言えない	109	19.9
04	見る可能性はあると思う	216	39.5
05	確実に見ると思う	66	12.1
06	わからない	21	3.8
合計		547	100.0%

問5項目2. あなたは、大雨による災害が起こりそうな時に、パソコンや携帯電話から、これらの情報を実際に見て参考にするとお考えですか。

-全国各地の河川の水位(パソコンから)

No	選択肢	実数	%
01	確実に見ないと思う	48	8.8
02	見る可能性は低いと思う	134	24.5
03	どちらとも言えない	121	22.1
04	見る可能性はあると思う	172	31.4
05	確実に見ると思う	46	8.4
06	わからない	26	4.8
合計		547	100.0%

問5項目3. あなたは、大雨による災害が起こりそうな時に、パソコンや携帯電話から、これらの情報を実際に見て参考にするとお考えですか。

-一般の天気予報で伝えられるよりもはるかに多くの観測地点における雨量(携帯・スマホから)

No	選択肢	実数	%
01	確実に見ないと思う	108	19.7
02	見る可能性は低いと思う	126	23.0
03	どちらとも言えない	101	18.5
04	見る可能性はあると思う	137	25.0
05	確実に見ると思う	38	6.9
06	わからない	37	6.8
合計		547	100.0%

問5項目4. あなたは、大雨による災害が起こりそうな時に、パソコンや携帯電話から、これらの情報を実際に見て参考にするとお考えですか。

-全国各地の河川の水位(携帯・スマホから)

No	選択肢	実数	%
01	確実に見ないと思う	128	23.4
02	見る可能性は低いと思う	140	25.6
03	どちらとも言えない	103	18.8
04	見る可能性はあると思う	107	19.6
05	確実に見ると思う	29	5.3
06	わからない	40	7.3
合計		547	100.0%

気象庁から、大雨警報、暴風警報など、気象に関する警報が発表されることがあります。

問 6. この「警報」とはどのような意味を持つ情報だと思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	災害が起こるほどではないが念のため注意することを呼びかける情報	34	6.2
02	災害が起こるおそれがあることを注意する情報	239	43.7
03	重大な災害が起こるおそれのあることを警告する情報	236	43.1
04	非常に危険な状況になったので避難を呼びかける情報	28	5.1
05	わからない	10	1.8
	合計	547	100.0%

問 7. 気象に関する警報は、どの程度の地域的な広がり単位として発表されていると思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	県単位くらい	34	6.2
02	県内を複数の地域に区分するくらい	197	36.0
03	市町村単位くらい	210	38.4
04	市町村内をさらに複数の地域に区分するくらい	82	15.0
05	わからない	24	4.4
	合計	547	100.0%

気象庁から、市町村程度の地域的な広がり単位として、「土砂災害警戒情報」という情報が発表されることがあります。

問 8. 「土砂災害警戒情報」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。

No	選択肢	実数	%
01	ある	284	51.9
02	ない	192	35.1
03	わからない	71	13.0
	合計	547	100.0%

問 9. 「土砂災害警戒情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	すぐに土砂災害が発生するほどではないが、念のため注意した方がよい時	48	8.8
02	土砂災害が発生する可能性が生じた時	238	43.5
03	土砂災害が発生する危険度が高まった時	223	40.8
04	土砂災害が発生した時	5	0.9
05	わからない	33	6.0
	合計	547	100.0%

気象庁から、市町村程度の地域的な広がり単位として、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されることがあります。

問 10. 「記録的短時間大雨情報」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。

No	選択肢	実数	%
01	ある	247	45.2
02	ない	208	38.0
03	わからない	92	16.8
	合計	547	100.0%

問 11. 「記録的短時間大雨情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	1時間の雨量が、その市町村においては 数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	163	29.8
02	1時間の雨量が、その市町村においては 数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	182	33.3
03	1時間の雨量が、日本全国で数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	71	13.0
04	1時間の雨量が、日本全国で数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	38	6.9
05	わからない	93	17.0
	合計	547	100.0%

気象庁から、複数市町村程度の地域を単位として、「これまでに経験したことのないような大雨」という情報が発表されることがあります。

問 12. 「これまでに経験したことのないような大雨」という情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。

No	選択肢	実数	%
01	ある	306	55.9
02	ない	161	29.4
03	わからない	80	14.6
	合計	547	100.0%

問 13. 「これまでに経験したことのないような大雨」の「これまで」とは、具体的には過去何年間くらいのことだと思いますか。年数を数字で記入してください。

《省略》

問 14. 「これまでに経験したことのないような大雨」とは、次の中で選ぶとすれば、どのような大雨だと思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	情報が発表された市町村周辺では過去に記録されていない大雨	165	30.2
02	情報が発表された市町村を含む都道府県内では過去に記録されていない大雨	196	35.8
03	日本全国で見ても過去に記録されていない大雨	148	27.1
04	世界中で見ても過去に記録されていない大雨	9	1.6
05	わからない	29	5.3
	合計	547	100.0%

問 15 項目 1. 気象に関する警報が発表されたことを知るための情報メディアとして、あなたは何を思うと思いますか。
-もっとも利用する

No	選択肢	実数	%
01	テレビ(一般放送)	380	69.5
02	テレビ(データ放送 ※「d ボタン」を押して気象情報を見る)	42	7.7
03	テレビ(ワンセグ)	7	1.3
04	ラジオ	15	2.7
05	インターネット(パソコンから)	65	11.9
06	インターネット(携帯・スマホから)	24	4.4
07	登録制の災害情報メール	9	1.6
08	行政機関からの放送	0	0.0
09	家族や近所の人からの口頭連絡	2	0.4
10	その他のメディア	1	0.2
11	そもそも警報の発表について知ろうと思わない	2	0.4
	合計	547	100.0%

問 15 項目 2. 気象に関する警報が発表されたことを知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いますか。
-二番目に利用する

No	選択肢	実数	%
01	テレビ(一般放送)	80	14.7
02	テレビ(データ放送 ※「d ボタン」を押して気象情報を見る)	74	13.6
03	テレビ(ワンセグ)	6	1.1
04	ラジオ	60	11.0
05	インターネット(パソコンから)	213	39.1
06	インターネット(携帯・スマホから)	80	14.7
07	登録制の災害情報メール	13	2.4
08	行政機関からの放送	13	2.4
09	家族や近所の人からの口頭連絡	3	0.6
10	その他のメディア	3	0.6
11	そもそも警報の発表について知ろうと思わない	0	0.0
	合計	545	100.0%

次の設問では、現在は存在していない気象情報について質問します。仮にこれらの情報が存在したら、あなたはどのように考えるかをお答えください。

問 16. 仮に「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで警報が発表された場合、災害発生の危険性が高いのは「レベル5」の方だと感じますか、あるいは「レベル1」の方だと感じますか。

No	選択肢	実数	%
01	「レベル1」の方が災害発生の危険性が高いと感じる	15	2.7
02	「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いと感じる	532	97.3
	合計	547	100.0%

問 17. 仮に「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで警報が発表された場合、死者の発生・住家の床上浸水や全壊などの被害が発生する可能性があると感じるのは、どのレベルですか。

No	選択肢	実数	%
01	大雨警報レベル1	10	1.8
02	大雨警報レベル2	7	1.3
03	大雨警報レベル3	67	12.2
04	大雨警報レベル4	177	32.4
05	大雨警報レベル5	286	52.3
	合計	547	100.0%

この設問では、次のような場所にあなたが居住していると仮定して、お答えください。

- ・ あなたのご自宅は山に近く、ハザードマップ上で「土砂災害警戒区域(土砂災害に見舞われる可能性のある場所)」内にあると示されています。
- ・ あなたのご自宅の構造は、木造2階建てです。
- ・ ご自宅から徒歩5分ほどのところに、避難所となっている公民館があります。この公民館がある場所は、「土砂災害警戒区域」の範囲外にあります。

この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

※これらの情報は、危険度の強さの順に並んでいるものではありません。

問 18 項目 1. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害注意報

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	5	0.9
02	テレビなどで情報を集める	207	37.8
03	付近の様子を見る	129	23.6
04	特に何もしない	195	35.6
05	わからない	11	2.0
合計		547	100.0%

問 18 項目 2. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	49	9.0
02	テレビなどで情報を集める	259	47.3
03	付近の様子を見る	128	23.4
04	特に何もしない	102	18.6
05	わからない	9	1.6
合計		547	100.0%

問 18 項目 3. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害特別警報

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	150	27.4
02	テレビなどで情報を集める	224	41.0
03	付近の様子を見る	89	16.3
04	特に何もしない	73	13.3
05	わからない	11	2.0
合計		547	100.0%

問 18 項目 4. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害発生情報

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	104	19.0
02	テレビなどで情報を集める	255	46.6
03	付近の様子を見る	88	16.1
04	特に何もしない	88	16.1
05	わからない	12	2.2
合計		547	100.0%

問 18 項目 5. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報レベル 1

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	25	4.6
02	テレビなどで情報を集める	229	41.9
03	付近の様子を見る	131	23.9
04	特に何もしない	148	27.1
05	わからない	14	2.6
合計		547	100.0%

問 18 項目 6. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報レベル 2

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	29	5.3
02	テレビなどで情報を集める	247	45.2
03	付近の様子を見る	144	26.3
04	特に何もしない	116	21.2
05	わからない	11	2.0
合計		547	100.0%

問 18 項目 7. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報レベル 3

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	85	15.5
02	テレビなどで情報を集める	267	48.8
03	付近の様子を見る	119	21.8
04	特に何もしない	64	11.7
05	わからない	12	2.2
合計		547	100.0%

問 18 項目 8. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報レベル 4

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	208	38.0
02	テレビなどで情報を集める	208	38.0
03	付近の様子を見る	78	14.3
04	特に何もしない	42	7.7
05	わからない	11	2.0
合計		547	100.0%

問 18 項目 9. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-土砂災害警報レベル 5

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	295	53.9
02	テレビなどで情報を集める	153	28.0
03	付近の様子を見る	48	8.8
04	特に何もしない	41	7.5
05	わからない	10	1.8
合計		547	100.0%

問 18 項目 10. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-避難勧告

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	307	56.1
02	テレビなどで情報を集める	138	25.2
03	付近の様子を見る	71	13.0
04	特に何もしない	19	3.5
05	わからない	12	2.2
合計		547	100.0%

問 18 項目 11. この場所に居住している時に、次のような名称の情報が発表されたとしたら、あなたはそれぞれどのように行動すると思いますか。

-避難指示

No	選択肢	実数	%
01	すぐに避難所に避難する	391	71.5
02	テレビなどで情報を集める	81	14.8
03	付近の様子を見る	46	8.4
04	特に何もしない	16	2.9
05	わからない	13	2.4
合計		547	100.0%

問 19. 大雨や土砂災害など、気象災害の危険性の程度を伝える情報は、「大雨注意報、大雨警報」のように言葉で表す方法と、「大雨警報レベル3」のように数字で表す方法が考えられます。あなたにとっては、どちらの方法の方が、危険性の程度を理解しやすいと思いますか。

No	選択肢	実数	%
01	「大雨注意報、大雨警報」のように言葉で表す方法が理解しやすい	151	27.6
02	「大雨警報レベル3」のように数字で表す方法が理解しやすい	272	49.7
03	どちらでも変わらない	82	15.0
04	わからない	42	7.7
合計		547	100.0%

問 20 項目 1. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-家具類の固定・転倒防止

No	選択肢	実数	%
01	行っている	248	45.3
02	行っていない	299	54.7
合計		547	100.0%

問 20 項目 2. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-携帯ラジオの用意

No	選択肢	実数	%
01	行っている	370	67.6
02	行っていない	177	32.4
合計		547	100.0%

問 20 項目 3. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-懐中電灯・ろうそくの用意

No	選択肢	実数	%
01	行っている	455	83.2
02	行っていない	92	16.8
合計		547	100.0%

問 20 項目 4. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-非常用食料・飲料水の備蓄

No	選択肢	実数	%
01	行っている	325	59.4
02	行っていない	222	40.6
合計		547	100.0%

問 20 項目 5. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-避難場所がどこか、確認している

No	選択肢	実数	%
01	行っている	356	65.1
02	行っていない	191	34.9
合計		547	100.0%

問 20 項目 6. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-避難場所への経路(行き方)を確認している

No	選択肢	実数	%
01	行っている	304	55.6
02	行っていない	243	44.4
	合計	547	100.0%

問 20 項目 7. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-非常時の連絡方法などを家族で話し合い決めている

No	選択肢	実数	%
01	行っている	200	36.6
02	行っていない	347	63.4
	合計	547	100.0%

問 20 項目 8. あなたの家では、災害に備えて何か準備・実行していますか。以下の中で、準備しているものをそれぞれお選びください。

-町内会や自治体が行う防災訓練(学校・職場での訓練は除く)に何度も参加している

No	選択肢	実数	%
01	行っている	103	18.8
02	行っていない	444	81.2
	合計	547	100.0%

F1. 居住地をお選びください。

No	選択肢	実数	%
01	盛岡市	173	31.6
02	静岡市	186	34.0
03	名古屋市	188	34.4
04	その他	0	0.0
	合計	547	100.0%

防災気象情報に関するアンケート 報告書

2013年4月22日発行

著者・発行者 静岡大学防災総合センター牛山研究室
照会先 静岡大学防災総合センター 牛山研究室 (准教授 牛山素行)
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836
電話&FAX : 054-238-4546
E-mail : ushiyama@disaster-i.net
URL : <http://disaster-i.net/>